JLAUのミッションとして活動していくために、2024年(2023-24年度)の委員(JLAU会員)・サポーター(JLAU活動に興味がある方)、事務局員(JLAU会員)を公募します。
委員は、1期2年を任期（継続可）としています。サポーターの方には入会意向を確認させていただきます。
応募いただける方は、事務局までご連絡ください。
●連絡先：　JLAU事務局 <jimukyoku@jlau.or.jp>
●「件名：JLAU委員会参加希望」「氏名、会員区分（正会員,一般会員,学生会員,企業・団体会員/会員外）、所属、希望する委員会名・部会名、特に活動したい内容・コメント」を記載(自由書式)の上、
　連絡可能なE－Mailアドレスから送信してください。後日、各委員会担当からご連絡させていただきます。

委員会名	部会名	委員長	副委員長	活動内容	委員会アピール	募集人員
総務委員会		棚瀬新一朗	大橋尚美	JLAU運営に係る、社員総会・理事会・常任理事会開催に関する議事・調整、諸規則の確認、財務・会計の確認に関することを行います。	地味かもしれませんが、JLAU活動内容の情報集約による情報収集や学び、JLAU運営に係る活動から「スキーム(計画)/フロー(計画)/ロジック(論理)/スキーム(概要)、他の習得」「調整・まとめ力の向上」「人的交流」が可能です。	複数名
広報委員会		田嶋豊	萩野正和	JLAU公式ホームページやSNS等を活用し、国内外にランドスケープアーキテク（RLA）の社会的役割を周知し、ステークホルダーへむけてわかりやすくJLAUの活動情報提供をします。	広報の専門家ではないメンバーが集まり、四苦八苦しながらJLAUの広報活動を行ってます。ホームページの運用だけではなく、JLAUが発行するビジュアルツール全般においてメンバーと協議しながら制作しています。JLAU内でも「発信力が弱い！」と指摘され続けております。広報の専門知識や経験は不要ですので、一緒に楽しく活動しましょう。	複数名
〃	東日本大震災復興記録部会	高橋靖一郎	篠沢健太	東日本大震災からの復興の風景像を記録し、ランドスケープの成り立ちを考察する。今後の自然災害からの復旧・復興においてランドスケープアーキテクトの職能が果たすべき役割を考察する資料をアーカイブします。	震災後の調査や復興事業に携わった会員を中心に、事業プロセスや成果について議論を交わしています。長い時間軸で醸成される風景に対して、今後も現地踏査の情報を共有し、自然災害とその復興におけるランドスケープアーキテクトの職能・職域のあり方について知見を深め、発信していきたいと考えています。	複数名
IFLA委員会		保清人	鈴木綾	国際ランドスケープアーキテクト連盟（IFLA）への貢献とワーキング活動参加等をします。	世界共通の課題を世界のランドスケープアーキテクト達と議論し、実践する委員会です。IFLAのナレッジハブ、ウェルビーイング、農業、気候変動、教育、国境なきランドスケープアーキテクトのワーキンググループや、IFLAの若手グループの活動にも、領域を問わず参加することができます。	複数名
技術委員会		岩井洋	小澤亮太	RLAの活動領域の拡大、視野・見識を広げるため、「技術アーカイブ活動（ランドスケープ以外の分野/周辺分野）」、「企業意見交換会（JLAUステークホルダー企業）」、「関連セミナー」などを開催します。 近年は「グリーンインフラ」について議論や識者を招いて意見交換をしています。	ランドスケープ分野だけでなく、広く他分野の取り組みやその考え方などに着目し、様々な分野の方々に直接お会いし、興味深い話を伺ったうえで、JLAUホームページなどを通じて会員に情報提供を行っています。多くの他分野・異業種の方々にお会いし、何かRLA活動におけるヒントを得たいと考えております。	複数名
セミナー委員会		鈴木裕治	高橋彩	セミナー、フィールドワーク、見学会の企画開催および各部会の取りまとめを行います。	年度毎のセミナーのテーマ設定、部会を横断したコラボレーション、特別セミナーの実施などを企画、開催するなど今後の展開を自由に提案し議論することができます	複数名
〃	都市デザイン部会	田下祐多・小林亮太	安斎賢三・津久井淳士	都市デザインの現在における潮流を探りながら都市における新しいランドスケープの在り方を議論し模索します。	都市に興味のある人、とりわけ新規プロジェクトや今までのプロジェクトのエイジングがどうなったかなど、見学会を企画して都市にまつわる多様な歴史や未来を捉えながら仲間と繋がり、議論をしていくことができます	複数名

〃	観光部会	佐々木麻衣	井野貴文	観光をテーマに景観の保全・育成の指針、価値の再発見など、気付きを与えた上で、環境整備すべき方向性を発信します。	観光学の専門家（元教授）を顧問に迎え、観光学の講義や現地フィールドワークを通して、温泉観光地におけるランドスケープの可能性を議論しながら提案することを目指しています。プチセミナーや宿泊体験など企画も多く実施し、提案型の活動を行なっています	複数名
〃	スケッチ部会	高橋彩	本田亮悟	ランドスケープ技術者に欠かせない風景スケッチの技術向上を目的とした講座を開催します。	美大出身かつランドスケープに長けた先生を講師に迎え、鉛筆デッサンから水彩画基礎応用まで、幅広く学べる活動です。色々な場所を訪れてスケッチを描く企画を立案し、楽しみながら上達する方法を模索していきます	複数名
〃	多様性部会	井上剛	向山雅之	ランドスケープを通じた生物多様性の保全・回復、文化的多様性の促進、持続可能な地域づくりに関する事業を展開します。	植物や生物の生態系を重視し、サスティナブルな循環を目指した多様性のある場所作りがどうあるべきか、興味を持つ仲間たちと勉強会を展開しています	複数名
〃	庭園部会	桝井淳介	間瀬京子	わが国古来の庭園文化を色濃く反映した関東の名庭・名園の見学を通じて、会員の相互交流や自己研鑽に応える魅力的なプログラムを提供します。	実際の庭園を体験し、知見のある作庭家やステイクホルダーを招いた見学会を企画しており、興味のある人たちが集って、少人数限定の企画なども開催して相互交流を深めています	複数名
〃	公園部会	宮川忠之	石井裕子	〈子どもの遊び場〉の視点から利用者や関係者との意見交換を通じて身近な公園の課題を共有し、公園の価値向上に資する知見を得ています。	公園に興味のある人が集い、世田谷プレイパークと連携したプログラムを展開し、公園における問題点や可能性を共有、議論して楽しく安全な今後の公園の在り方を議論しています	複数名
資格教育委員会		八色宏昌	手塚一雅	ランドスケープに関わる研修プログラムの企画・運営、RLA資格制度の普及、CPD単位の取得推進等の取り組みを行います。	ランドスケープアーキテクトを目指す方や技術者を対象としたセミナーの企画・講師・運営や出版事業の企画・執筆・運営等を通じて技術者の育成や資格普及等に関わることができます	複数名
アワード委員会		高橋靖一郎	岩井洋・鈴木裕治	JLAUの顕彰事業として新人賞、技術賞、大賞を定め、社会に発信する。ランドスケープの職能・職域に対する知名度を高め、次世代の意識を喚起して、活躍の場の創出を図っています。	活躍するJLAU会員との交流、優れた作品における知見の習得、審査過程の真摯な議論を通じて、ランドスケープに対する考察を深めることができます	複数名
ネットワーク委員会		吉武宗平	北海道：村田周一 中部：加藤隆士 関西：片木孝子 九州：佐野剛仙	北海道・中部・関西・九州の各エリアにおいて、地方会員への情報発信と、会員同士及び地方他団体との交流・研鑽・協働の場となるプログラムの提供を行います。	各エリアで会員との交流が深められるとともに、希望すればセミナーや見学会などの企画運営にも携わることができます。また各エリアにとどまらず、全国の会員とも交流のきっかけを得ることができます	複数名
大阪関西万博特別委員会		忽那裕樹	武田重明	アフター万博を2024年に提案することを目的としている。2025年に大阪・夢洲で開催される日本国際博覧会の開催後、ランドスケープの観点からアーバンデザインを先行するものとして、複数の大学と連携したワークショップやコンペを通じて議論を重ね、提案の作成を行います。	当委員会では、アーバンスケールでのランドスケープの理解を議論やリサーチから深め、実際の提案までを、チームの一員として参加し経験できます。また産学官連携による様々な人との交流があり、対話を通じて繋がりが出来ます	複数名
EXPO2027特別委員会		調整中	調整中	2027年国際園芸博覧会開催における、JLAU会員の出展参加サポート、園芸博覧会協会要請に必要に応じてIFLA委員会と連携した活動等を行います。（新設）	新しい委員会の立ち上げから参加することが出来ます。国際的な視点でのランドスケープ領域のあり方、内外交流を深めることで新たな展開が得られます	複数名
事務局		高橋靖一郎(事務局長)		JLAU運営における事務、渉外、会計、入退会を管理します。	JLAUの運営を支える大切な役割を担っています。会員との接点が多く、JLAUの中心メンバーとも交流を深めることができます。対外的なやり取りもあり、組織運営に関するノウハウを実践的に学ぶことができます。	複数名